

令和3年度 新型コロナ交付金事業 実施結果等

事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金	事業結果・成果
中小企業販売力強化支援事業	①収束後の市内経済の再生に向け、市内事業者の販売力強化を支援する。 ②市内事業者が行う多様な販売方法(ECサイト登録等)の導入にかかる経費の一部を補助する。(補助率:2/3以内、上限20万円・40万円) ③中小事業者@200千円×3事業者=600千円 経済団体等@400千円×1事業者=400千円 実績:4事業者 667千円 ④市内中小事業者、経済団体等	R3.5.12	R3.12.24	667,000	500,000	市内事業者が販路拡大のために行うインターネットを活用したECサイトの開設やECモールへの出店事業にかかる経費の一部を補助した。 【結果】交付件数:4件、交付金額:667,000円
感染防止対策経営改善事業	①市内事業所において市民・観光客が安心して利用できる環境を整え、市内経済の再生を図る。 ②市内の接客を行う事業所が感染予防、防止のために行う施設改修(空調設備改修等)や備品購入(空気清浄機等)にかかる費用の一部を補助する。(補助率:1/2以内、上限50万円) ③@500千円×6事業者=3,000千円 実績:66事業者 17,755千円 ④市内事業者	R3.5.12	R3.12.24	17,755,000	11,700,000	新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策及び新しい生活様式へ対応するために市内事業者が行う施設、設備等の改修にかかる経費の一部を補助した。 【結果】交付件数:66件、交付金額:17,755,000円 ※ほかに県の新型コロナウイルス感染症対策地域振興臨時交付金:2,156,000円あり
ワーケーション環境整備事業	①収束後の多様な働き方のニーズに備え、テレワーク(ワーケーション)環境の整備を図るもの。 ②市内宿泊業事業者が行うワーケーション環境の整備にかかる初期費用の一部を補助する。 ③補助金 1,086千円 ④市内事業者、宿泊施設	R3.5.12	R3.12.24	1,086,000	1,000,000	市内事業者が行うテレワーク等活用したオフィス環境の整備にかかる費用の一部を補助した。 【結果】交付件数:9件、交付金額:1,086,000円 ・補助金交付事業者を「ワーケーション協力施設」としてPR
事業継続支援給付事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により事業収入が減少した市内事業者の事業継続を支援するもの。 ②事業収入が前年度と比べ30%以上減少した市内事業者を対象とした給付金交付事務にかかる費用 ③給付金@30千円×984件=29,520千円 →@30千円×76件=2,280千円 給付金@100千円×1,478件=147,800千円 →@100千円×409件=40,900千円 会計年度任用職員等事務費 614千円 計 43,794千円 ④市内事業者(全業種)	R3.4.1	R3.6.18	43,180,000	21,590,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが著しく減少した市内事業者を対象に、売上高に応じて1事業者10万円又は3万円を交付した。 【結果】交付件数:485件、交付金額計43,180,000円 ※(県)新型コロナウイルス感染症対策地域振興臨時交付金:21,590千円あり 事業収入が、前年対比30%以上減少している事業者を対象とした補助事業であったため、タイミング的にも効果的な事業であった。
プレミアム付商品券発行事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により低迷する市内経済の活性化を図るもの。 ②プレミアム付商品券の発行にかかる経費(補助事業) ③商品券プレミアム分10,000千円+3,500千円(非課税世帯分)→12,830千円 商品券発行に係る事務経費 3,000千円→2,723千円 ④下田商工会議所(市内274店舗が参加)	R3.5.13	R4.1.17	15,553,988	8,100,000	新型コロナウイルス感染症の影響により低迷する市内経済の活性化と消費喚起を目的にプレミアム付商品券発行事業を実施した。なお、同事業を活用し、低所得者向け支援策として、非課税世帯商品券配布事業を実施した(福祉事務所) 【結果】 ・商品券発行枚数:13,500冊 ・プレミアム率:25% ・事業主体:下田商工会議所 ・事業期間:R3.5.17~R3.12.31 ・補助額:15,553,988円 ・参加店舗:市内274社 ・商品券利用額:66,830,000円(商品券利用率:99.0%)
給食食材提供事業者支援事業	①新型コロナウイルス感染症により疲弊した地元商店等の地場産品を利用した学校給食を提供し、農林水産物小売業・第一次産業の事業継続を支援するもの。 ②③500千円(約1,500食分)×10回(月2回×5月)=5,000千円 ④下田市	R3.4.23	R3.7.7	2,997,896	2,322,000	※最下段の欄「給食食材提供事業者支援事業」分と併せて記載 児童生徒に、より良い地元食材等を給食として提供するとともに、給食食材提供業者に対し、地域支援として賄材料費を支出した。 【結果】事業費:4,997,832円(うち2,997,896円分)
夏期海岸対策事業	①海水浴場の感染予防対策への支援 ②③新型コロナウイルス感染症対策経費(計18,100千円) ・海水浴場感染症対策設置業務:4,500千円 ・検温所設置業務:1,400千円 ・感染症対策(消毒液等、入場口健康確認、啓発活動):2,800千円 ・浜地管理(巡回、清掃、入場口):9,400千円 ④夏期海岸対策協議会	R3.5.20	R3.12.20	18,100,000	16,649,000	海水浴場における感染予防対策として、浜地でのソーシャルディスタンスの目安となる柵の設置、入場口での検温業務、看板等による啓発活動を実施した。 【結果】 当事業の実施により、懸念のあった夏の海水浴場に端を発する新型コロナ感染拡大の防止につなげることができた。
OTA等広報強化事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により低迷する観光・宿泊施設事業者への支援 ②補助金 ③観光・宿泊事業者の経済活性化を図るため、旅行商品造成及び周知を行うOTA事業を支援 ・補助金:15,000千円(じゃらん、楽天、JTB) ④下田市観光協会	R3.4.1	R4.3.31	15,000,000	14,500,000	OTAを活用した宿泊を伴う誘客活動により地域経済の活性化を図る事業を実施した。 【結果】コロナ禍において、人流の停滞が著しい中において、リクルートじゃらん、楽天トラベル、JTB/Yahoo!トラベルその他OTAを活用し、割引クーポンなどとの抱き合わせによる工夫を通じ、誘客につなげる可能なかぎりの活性化策を講じることができた。

事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金	事業結果・成果
防災活動支援事業	①避難所をはじめとした感染症の予防・拡大防止 ②備品購入費、消耗品費 ③予算9,782千円 ・大型扇風機@49千円×7避難所×4台=1,387千円 ・嘔吐物凝固剤@27,500千円×7避難所×2箱=385千円 ・災害用トイレ@262千円×13基=3,406千円 (7避難所に3基ずつ配置可能となる) ・下田モデル4,650千円(チラシ印刷3,905千円、郵便料500千円、新聞折込手数料100千円、消耗品100千円) ・生理用品、紙パンツ 941千円 ④-(市が購入。避難所で使用する下田モデルは啓発・広報として使用)	R3.4.16	R4.3.30	5,859,062	5,300,000	【結果】 1つめとして、避難所用感染症対策用品購入を行った。これは、避難所運営において感染予防対策を徹底するためのもので、大型扇風機28台、災害用トイレ13基及び専用消耗品セット26セットを購入した。 2つめとして、新・下田モデルの周知・推進を図った。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、下田市民・観光客の健康管理と行動確認による感染予防の徹底を図るもので、東京大学大学院の大澤幸生教授が提唱する「ステイウィズコミュニティ」の考え方を取り入れた「下田モデルカード」や新・下田モデル周知のため、ポスターやチラシ等を作成し、市内観光施設、宿泊施設、店舗等に提供を行った。
路線バス交通系ICカード導入事業費補助金	①公共交通におけるキャッシュレス導入による「新しい生活様式」への対応 ②路線バスのICカード化費用に対する補助金の交付 ③150千円×12台=1,800千円 ④バス事業者((株)東海バス)	R3.8.31	R4.3.30	1,800,000	1,500,000	ICカード利用の環境を整備するため、(株)東海バスに対して1,800千円の補助金を交付した。 【結果】ICカード整備車両数 12台 ICカード利用の環境を整備したことでキャッシュレス化を推進し、バス利用者の利便性やバスの定時性が向上した。
図書館パワーアップ事業	①新型コロナウイルス感染症に感染しないように、自宅に引きこもりがちな高齢者等に向けて読書時間を充実させることができるよう抗菌処理した大活字本の充実を図る。 ②③ ・大活字本:@3,000円×120冊=360千円 ・LLブック、さわる絵本等:@2,500円×30冊=75千円 ・オーディオブック:@2,500円×80冊=200千円 ・YA等読み物:@1,000円×200冊=200千円 ・図書マーク作成委託火(350冊分) @100円×350冊×1.1=40千円 ④下田市(市立図書館)	R3.11.25	R4.3.15	874,474	400,000	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、在宅生活で充実した読書機会を創出するため、一般書・児童書の小説や絵本等の図書を404冊、オーディオブック(CD)を57点購入した。 【結果】 ・図書購入費 834,874円(図書404冊、CD57点) ・新規購入図書マーク作成業務費39,600円 ステイホームが叫ばれている中で、新たな生活スタイルを如何に確立し、充実した時間を過ごせるかが社会的にも課題となっている中で、読書機会を提供しようとする本取組は、非常に有用なものであった。
非課税世帯商品券配布事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、生活が困窮し収入が減少した住民税非課税世帯に商品券を配布することで経済支援を実施し、生活困窮の一助とする。 ②商品券配布に係る経費 ③報償費@4千円×2,022世帯=8,088千円 通信運搬費1,525千円、委託料660千円 ④令和3年度非課税世帯の世帯主	R3.6.1	R3.9.15	10,273,000	4,500,000	令和3年度市民税(均等割)が課税されていない世帯を対象に、プレミアム付商品券を配布し、生活支援を行うとともに、市内経済活性化の一助とする取組とした。 【結果】 ・@4,000円×2,022世帯=8,088,000円
市民スポーツセンター空調機改修事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の整備を行うことで、安心安全に施設を利用してもらうもの。 ②③ ・スポット冷房 1,000千円 ・第1会議室空調機改修 1,700千円 ④下田市(市民スポーツセンター)	R3.11.4	R4.3.31	2,458,500	1,900,000	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図り、市民スポーツセンターの安全安心な利用に資するため、第1会議室空調機の改修工事及び気化式冷風機、空気循環式紫外線清浄機を購入した。 【結果】 ・空調改修工事一式:1,540,000円 ・気化式冷風機購入費:458,700円(2台) ・空気循環式紫外線清浄機:459,800円(1台)
福祉会館換気設備改修事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の整備を行うことで、安心安全に施設を利用してもらうもの。 ②③熱交換換気システム改修 2,000千円 ④下田市(総合福祉会館)	R3.10.12	R4.2.4	2,000,000	2,000,000	新型コロナウイルス感染症対策として、総合福祉会館換気設備の改修工事を実施した。 【結果】 ・全熱交換器(ロスナイ)3台(1階事務室、2階事務室、2階娯楽室) ・換気扇 3台(女子浴室、男子浴室、男子脱衣室)
下田モデル啓発事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、市の玄関口となる伊豆急下田駅において、感染症対策の取組として「下田モデル」を啓発し、訪問者に対して感染予防を啓発するもの。 ②③委託料:470千円 ④シルバー人材センター	R3.7.16	R3.8.23	405,785	176,000	上記の「防災活動支援事業」の新・下田モデルの周知・推進の一環となる事業を実施した。 【結果】 夏期にシルバー人材センターへの委託により伊豆急下田駅において、観光客への新・下田モデルの啓発とサーマルカメラによる検温の呼びかけを実施し、新型コロナの感染拡大防止を図る取組とした。
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金(営業時間短縮要請)市負担分	①静岡県が、知事の営業時間短縮要請等に応じて、施設の営業時間の短縮にご協力いただける事業者に対し、協力金を支給(支給事務は下田市が実施。また、国の分担割合を除いた20%のうち、1/3を市が負担)。 ②7/28~8/10の期間中に営業時間の短縮(PM8時~AM5時まで)した酒類を提供する飲食店等を対象に協力金を支給。 →要請機関:7/28~8/7 ③(協力金)@35千円/日(想定平均)×630業者×14日×0.2×1/3=20,580千円 →(協力金)217事業者 70,710千円 事務費 990千円 ④市内協力事業者	R3.8.11	R3.10.15	70,710,000	4,700,000	静岡県知事による飲食店の営業時間短縮要請に応じた事業者に対し、協力日数・事務規模に応じて協力金を交付した。 【結果】 ・要請期間:R3.7.28~R3.8.7 ・交付件数::217件 ・交付金額:70,710,000円 ※(県)新型コロナウイルス感染拡大防止協力金(営業時間短縮要請)交付事業費補助金:65,996,000円あり

事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金	事業結果・成果
成人式感染対策事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、成人式参加者・関係者に抗原検査キットを配布し検査を実施する。 ②③ ・検査キット: @3,410円×200人×2個×1.1=1,501千円 ・郵便料: @120円×200人=24千円 ④成人式参加者、関係者	R3.10.14	R4.1.28	1,471,800	1,350,000	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、成人式を安心安全に執り行うため、抗原検査キットを購入し。参加者及び関係者へ郵送して帰省前、成人式前に抗原検査を実施した。 【結果】 ・抗原検査キット購入費:1,450,240円(400個) ・郵送料:21,560円 成人式実施による新型コロナウイルス感染者の報告はなし。
事業者応援金事業	①まん延防止等重点措置や緊急事態措置の適用に伴う飲食店等への時短要請・休業要請または外出自粛の影響等により、売上が減少した市内事業者の事業継続を支援するために補助金(支援金)を交付する。 ②補助金・交付事務費 ③補助金(応援金) @100千円×1,100件=110,000千円 →@100千円×828件=82,800千円① @50千円×800件=40,000千円 →@50千円×67件=3,350千円② ①+②=86,150千円 交付事務費1,300千円→496千円 合計 86,646千円 ④市内に事務所を有する法人・個人事業主	R3.9.27	R3.11.19	86,150,000	85,195,000	まん延防止等重点措置や緊急事態宣言措置の適用に伴う飲食店等への時短要請・休業要請または外出自粛の影響等により、売上が減少した市内事業者の事業継続を支援するために、1事業者につき10万円又は5万円を交付した。 【結果】 ・交付件数:895件 ・交付金額:86,150,000円 ※国からの交付金は、コロナ交付金の通常分47,000,000円と事業者支援分38,195,000円の2系統あり
OTA等広報強化・メディアプロモーション事業	①地域の活性化を図るため観光業の基盤となる宿泊客の獲得に向け、OTA事業と合わせメディアプロモーションを実施する事業に対する支援 ②③補助金:40,000千円 OTA事業8,000千円、メディアプロモーション32,000千円(首都圏、山梨県、静岡県) ④下田市観光協会	R3.11.19	R4.3.31	40,000,000	34,000,000	【結果】 コロナの影響による観光客の減少を食い止め、疲弊する市内経済の活性化に結びつけていくため、OTA事業の実施と合わせて、テレビ、ラジオ等の各種媒体を通じて本市の魅力を発信を行った。 TVCM187本、BS・YouTube広告ほか
イベント等開催環境整備事業	①新型コロナウイルス感染症防止のため、密にならない屋外空間等を活用して地域の活性化を図るために開催されるイベント等に使用する備品を整備するもの。 ②③ 折りたたみ式ステージ10,300千円、イージーアップテント20張1,650千円、テーブル25台・椅子100脚、パラソル25張3,110千円、収納倉庫2基4,300千円 ④下田市	R3.12.20	R4.3.24	16,500,000	14,928,000	【結果】 屋外空間を活用して地域の活性化を図るために開催されるイベント等に使用する折りたたみ式アルミ製拡張ステージ等を購入した。 これにより、コロナ禍における三密回避の一助となる環境づくり、イベント会場づくりにつなげることができた。 R4利用実績:10イベント(R3年度末の購入のためR4実績を記載)
児童福祉施設感染症対策事業	①保育所及び放課後児童クラブについて、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の整備を行うことで、安心安全に施設を利用してもらうもの。 ②③ ・空調設備設置工事 2か所 下田保育所1階3歳児室 1,300千円 稲生沢小学校学童室 1,200千円 ・トイレ改修工事 1,000千円 稲生沢小学校別館2階トイレ洋式化2か所 ④下田保育所・稲生沢小学校放課後児童クラブ	R4.1.17	R4.3.15	3,056,900	800,000	児童福祉施設にエアコンを新設し、空調管理を徹底することで、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図り、児童の健康維持を図る取組とした。 【結果】 ・下田保育所1階保育室に新設 事業費:1,166,000円 交付金:300,000円 ・稲生沢小学校別館2階放課後児童クラブ用教室に新設 事業費:1,054,900円 交付金:300,000円 ・稲生沢小学校別館2階放課後児童クラブトイレの和室便器4組を撤去後、洋式便器2組を新設 事業費:836,000円 交付金:200,000円
給食食材提供事業者支援事業	①新型コロナウイルス感染症により、疲弊した地元商店等の地場産品を利用した学校給食を提供し、農林水産物小売業・第一次産業の事業継続を支援するもの。 ②③ 500千円(約1,500食分)×10回(月2回×5月)=5,000千円 ④下田市	R3.5.12	R3.7.20	1,999,936	1,978,000	※上述のとおり 【結果】事業費:4,997,832円(うち1,999,936円分)
				357,899,341	235,088,000	